

平成 19 年 6 月 15 日  
沖縄電力株式会社

## 電気事業連合会 社長会見について

電気事業連合会加盟各社は、エネルギー記者会において、毎月(8月を除く)持ち回りで社長および副社長の定例記者会見を行っております。

本日、下記のとおり、当社社長當眞嗣吉が会見を行いましたので、お知らせいたします。

### 記

1. 日 時 : 平成 19 年 6 月 15 日(金) 15:00
2. 場 所 : 経団連ビル 電事連 501 会議室(東京都千代田区大手町)
3. 出席者 : エネルギー記者会加盟各社
4. 配布資料 :
  1. 最近の沖縄経済の動向について
  2. 電力需要の動向について
  3. 吉の浦火力発電所の進捗状況について

以 上

## 1. 最近の沖縄経済の動向について

### ○現状

最近の県内景気は、緩やかに拡大しています。

- ・ 個人消費 …… 自動車販売に弱さがみられるが、全体としてみれば堅調に推移しています。
- ・ 建設関連 …… 公共工事が減少したほか、民間工事も住宅着工を中心に足もと一服感が窺われます。
- ・ 観光 …… 単月としての入域観光客数が過去最高を7ヶ月連続で記録するなど、好調に推移しています。
- ・ 雇用 …… 完全失業率は、依然として高い水準にあります。

### ○先行き

「沖縄ブーム」の持続等を背景に観光関連が好調を持続していくほか、個人消費も緩やかな増加基調を辿るとみられ、また、建設関連でも民間工事を中心に持ち直しの動きが続くとみられることから、県内景気は緩やかに拡大していくと考えられます。

### 主要経済指標(伸び率)の推移

(単位:%)

項目	18年度			19年度
	上期	下期	年度計	4月
大型小売店売上高	▲2.4	▲1.6	▲2.0	▲2.4
新車販売台数	3.2	▲2.8	0.2	▲8.8
家電卸出荷額	12.8	1.3	7.0	3.4
新設住宅着工戸数	19.8	6.4	13.5	▲19.0
公共工事請負金額	▲22.1	16.3	▲4.0	▲53.6
入域観光客数	▲0.6	5.4	2.4	4.8
完全失業率	7.9	7.4	7.6	8.0
企業倒産金額	▲69.5	227.4	▲21.1	36.2

注①: 大型小売店売上高は全店舗ベース、4月速報値

注②: 完全失業率は原数値

[データ出所: 沖縄総合事務局、沖縄県、おきぎん経済研究所、他]

## 2. 電力需要の動向について

### ○平成18年度の電力需要

前年度に比べ0.4%増の73億7千6百万kWhとなりました。

#### ・民生用需要

家庭用電灯で前年度の高気温の影響等による需要増の反動減により前年度を下回ったものの、業務用電力においてお客さま数の増加があったことにより、前年度を上回りました。

#### ・産業用需要

海水淡水化施設の反動減※があったこと等により、前年度を下回りました。

### ○平成19年度4～5月の電力需要

前年同期に比べ0.6%増の10億6千8百万kWhとなりました。

#### ・民生用需要

お客さま数が増加したことにより、前年同期を上回りました。

#### ・産業用需要

高圧電力Aにおいてお客さま数が増加したものの、海水淡水化施設の反動減※があったこと等により、前年同期を下回りました。

※ 渇水の影響により、17年12月～18年3月（17年度）および18年4月（18年度）において海水淡水化施設が稼働増となりました。

(単位：百万kWh)

	H18実績 A	H17実績 B	増減 A-B	前年比 A/B(%)	H19実績 C (4～5月)	H18実績 D (4～5月)	増減 C-D	前年同期比 C/D(%)	備考	
電 灯 計	2,881	2,901	△ 20	99.3	414	415	△ 1	99.6	ご家庭の電気	
業 務 用	2,611	2,550	61	102.4	376	363	13	103.5	ホテル、百貨店・スーパーなど	
小 口	低 圧	523	526	△ 3	99.7	61	64	△ 3	95.6	商店、運輸通信業など
	高 圧 A	436	421	15	103.3	72	69	3	103.7	食料品製造業、水道業など（契約電力500kW未満）
計	959	947	12	101.3	133	133	0	99.8		
大 口	876	897	△ 21	97.7	137	142	△ 5	96.7	食料品製造業、水道業など（契約電力500kW以上）	
そ の 他	49	51	△ 2	93.5	8	9	△ 1	96.7	深夜電力、臨時電力（工事用電力）など	
電 力 計	4,495	4,445	50	101.1	654	647	7	101.2		
電灯電力計	7,376	7,346	30	100.4	1,068	1,062	6	100.6		
（再掲） 特定 需要 規模	業 務 用	550	537	13	102.3	84	85	△ 1	98.6	
	産業用その他	604	622	△ 18	97.1	95	100	△ 5	95.6	
計	1,154	1,159	△ 5	99.5	179	185	△ 6	96.9		

### 【参考】

(単位：百万kWh)

	H18実績 A	H17実績 B	増減 A-B	前年比 A/B(%)	H19実績 C (4～5月)	H18実績 D (4～5月)	増減 C-D	前年同期比 C/D(%)
民生用需要	6,064	6,028	36	100.6	859	851	8	101.0
産業用需要	1,312	1,318	△ 6	99.5	209	211	△ 2	99.0
合 計	7,376	7,346	30	100.4	1,068	1,062	6	100.6

民生用＝合計－産業用

産業用＝高圧A＋大口（高圧B＋産業用特定規模需要）

○平成19年度の需要見通し

対前年伸び率1.3%の74億6千8百万kWhを、気温うるう補正後では、対前年伸び率2.0%の74億4千8百万kWhと見込んでおります。

・民生用需要

家庭用電灯における口数の安定した伸びや、業務用電力でのお客さま数の増加が見込まれます。

・産業用需要

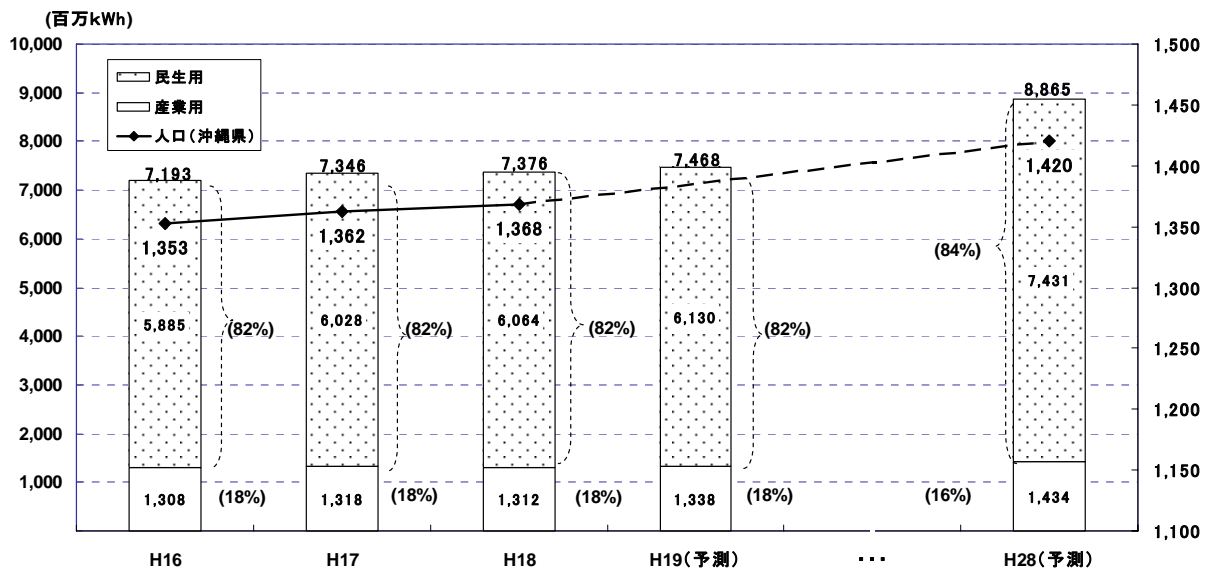
食料品製造業を中心に安定した伸びが見込まれます。

※ 電力需要の予測にあたっては、気温の変動によって大きく増減することから、過去の実績値より気温の影響を除いてから予測を行っています。(気温補正)  
また、平成19年度についてはうるう年の影響量も考慮しています。

○長期需要見通し

人口の増加にともない、民生用を中心とした電力需要の安定した伸びが見込まれます。

平成28年度の電力需要は、88億6千5百万kWh、平成17年度から平成28年度に至る年平均伸び率は、1.7% (気温補正後1.9%) と想定しています。



平成28年度に至る電力需要見通し

(単位: 百万kWh、%)

	H7年度 (実績)	H17年度		H18年度		H19年度		H28年度 (想定)	年平均伸び率		
		(実績)	伸び率	(実績)	伸び率	(見通し)	伸び率		7~17年度	17~28年度	
民生用	電灯	(2,270)	(2,879)	(2.9)	(2,868)	(▲0.4)	(2,970)	(3.6)	3,583	(2.4)	(2.0)
		2,295	2,901	3.2	2,881	▲0.7	2,978	3.4		2.4	1.9
	業務用他	(2,389)	(3,049)	(1.5)	(3,120)	(2.3)	(3,144)	(0.7)	3,848	(2.5)	(2.1)
		2,465	3,127	1.7	3,183	1.8	3,152	▲1.0		2.4	1.9
計	(4,659)	(5,928)	(2.2)	(5,988)	(1.0)	(6,114)	(2.1)	7,431	(2.4)	(2.1)	
産業用	(1,091)	1,094	0.8	1,312	▲0.5	(1,334)	(1.7)	1,434	(1.9)	0.8	
合計	(5,750)	(7,246)	(1.9)	(7,300)	(0.7)	(7,448)	(2.0)	8,865	(2.3)	(1.9)	
	5,854	7,346	2.1	7,376	0.4	7,468	1.3		2.3	1.7	

※ ( ) は気温うるう補正後

民生用=合計-産業用

産業用=高圧A+大口(高圧B+産業用特定規模需要)

### 3. 吉の浦火力発電所の進捗状況について

当社は、燃料の多様化および環境負荷低減の観点から、初のLNG火力発電所の導入を決定し、平成22年度の運開に向けて準備を進めておりますので、現在の進捗状況についてお知らせします。

#### ○建設工事

平成19年4月 : 発電所建設予定地に現場事務所開設  
平成19年5月25日 : 主要機器(LNGタンク)工事開始

#### ○環境アセスメント

吉の浦火力発電所建設に係る環境アセスメントは環境影響評価法、電気事業法に則り、平成14年に手続きを開始し、昨年8月をもって環境影響評価書の公告縦覧を最後にすべての手続きを終えました。

#### ○契約概要

吉の浦火力発電所建設工事について、平成19年2月までに契約締結済みであります。

#### ○用地交渉

平成17年1月 : 新日本石油精製(株)と「用地売買及び設備補償に関する契約」の締結。  
平成19年3月 : 更地として引取り、所有権移転登記を完了。

#### ○漁業補償交渉

関係漁業協同組合と交渉中。

#### ○地元対応

中城村が開催する電源立地への地元合意形成を目的とした住民説明会へ積極的に協力し、適宜参加することで中城村との協力体制の強化を図っています。

#### ○設備の概要

発電所名称 : 吉の浦<sup>よしうら</sup>火力発電所  
所在地 : 沖縄県中頭郡中城村(新日本石油精製(株)沖縄油槽所跡地)  
敷地面積 : 約19ha(約6万坪)  
発電方式 : LNGコンバインドサイクル発電方式  
発電機出力 : 100.4万kW(25.1万kW×4機)  
運開時期 : 1号機 平成22年度 2号機 平成23年度  
3,4号機 平成28年度以降

#### ○今後の工程

平成19年 11月 : 電気事業法第48条に基づく工事計画届出(2回目)  
平成20年 6月 : タービン、排熱回収ボイラ基礎工事開始  
平成22年 11月 : 1号機営業運転開始  
平成23年 5月 : 2号機営業運転開始

以上